

神山町のザトウムシ類

クモ類・貝類班（徳島県博物同好会） 富 島 啓 次¹⁾

1. はじめに

ザトウムシは蛛形綱^{しゅけい}に属し、真正クモに似ているが、クモとは異なる点が多々ある。まず糸腺^{せん}がなく、糸を出さない。頭胸部と体節構造をもつ腹部とが幅広く接していて、くびれをつくらない。非常に長い脚を持ち、第2歩脚が最も長く、その先端は触角のような働きがある。クモとは異なり、乾燥に弱く、湿度の安定した森の中のような環境でなければ生息できないものが多い。このような環境の減少にともない、年々ザトウムシの個体数は減少している。

2. 神山町で確認されたザトウムシ類

今回は十分な調査ができなかったが、神山町では、以前から何度も採集しているので、古い資料も含めて報告したい。また、坂東治男氏から貴重な資料を頂いたので、それも記すこととする。下記のうち（B）としたのが、坂東氏によるものである。ここに記して感謝する。

OPILIONES ザトウムシ目

Phalangodidae アカザトウムシ科

1. *Epedanellus tuberculatus* Roewer, 1911 オオアカザトウムシ

99. 10. 10. 悲願寺 1 ♂.

落ち葉の中、石の下にいる。赤褐色で、歩脚は比較的短い。

2. *Pseudobiantes japonicus* Hirst, 1911 ニホンアカザトウムシ

77. 6. 5. 悲願寺 1 ♂ 2 ♀. 99. 10. 10. 幼虫 (B).

前種とよく似た種であるが、より小型で体長は4～5 mmである。前種と同様に落ち葉の中にすむ。触肢は捕獲型で鋭い爪^{つめ}が良く発達している。

Trienonychidae ニセタテヅメザトウムシ科

3. *Nipponnychus japonicus* (Miyosi, 1957) ニホンニセタテヅメザトウムシ

77. 6. 5. 悲願寺 3 ♂ 2 ♀. 77. 10. 2. 柴小屋 5 ♂ 6 ♀.

99. 10. 10. 雲早山^{くもそう} 6 ♀ (B). 99. 10. 10. 大中尾^{おおなこ} 4 ♂ 7 ♀ (B).

1) 徳島文理高等学校

99. 10. 10. 柴小屋 1 ♂ 4 ♀ (B).

赤褐色で、体長 2 mm くらいの小型種である。やはり、落ち葉の中にすむ。

Nemastomatidae イトグチザトウムシ科

4. *Dendrolasma parvulum* (Suzuki, 1963) カブトザトウムシ

75. 8. 1. 土須峠^{とす} 5 幼虫. 99. 10. 10. 柴小屋 2 幼虫 (B).

体長 2 mm くらい。眼丘からのびた複雑な突起がかぶとの飾りのように見えることからこの名がついたのであろう。愛媛県と徳島県以外からは知られていない。

Nipponopsalididae ニホンアゴザトウムシ科

5. *Nipponopsalis abei* (Sato et Suzuki, 1939) サスマタアゴザトウムシ

77. 8. 18. 柴小屋 1 ♂.

体長 2.5 mm であるが鋏角^{きょうかく}はその倍近くあり、しかも、黒い。落ち葉の中にすみ、県内では広く分布するが、個体数は少ない。

Sabaconidae ブラシザトウムシ科

6. *Sabacon pygmaeum* Miyosi, 1942 コブラシザトウムシ

77. 8. 5. 柴小屋 2 ♂ (B). 99. 10. 10. 雲早山 1 ♀ (B).

落ち葉の中にすむ。落ち葉の中にすむものは、比較的農薬の影響を受けていないものが多いが、この科は背甲は柔らかく、触肢はブラシ状で、防御が手薄なために農薬にも弱いのか、個体数は少なくなっている。

Phalangiidae マザトウムシ科

7. *Oligolophus aspersus* (Karsch, 1881) トゲザトウムシ

77. 8. 18. 柴小屋 4 幼虫. 99. 10. 10. 柴小屋 1 ♂ (B).

比較的高地にすみ、頭胸部の前端に三つの棘^{とげ}がある。秋になると背甲が黒化する。

8. *Nelima nigricoxa* Sato et Suzuki, 1939 ヒコナミザトウムシ

99. 10. 10. 悲願寺 1 ♀. 99. 10. 10. 雨乞の滝 3 ♂ 1 ♀.

99. 10. 10. 雲早山 1 ♀ (B).

マザトウムシ科に属するものは、脚の長いものが多いが、特にこの種は長い。県内の山地でごく普通に見られる。夏までは腹面が白っぽいのが、秋になると黒化し、特に基節から腹面が黒くなる。

9. *Nelima satoi* Suzuki, 1944 サトウザトウムシ

99. 10. 10. 雨乞の滝 1 ♂.

前種に近縁の種であるが、湿度の高い、滝のしぶきのかかるような所にすむ。

10. *Leiobunum japonense japonicum* (Suzuki, 1940) オオヒラタザトウムシ

99. 7. 27. 雨乞の滝 1 ♂.

体長は雌では 7 mm を超える。幅も広く、まさにオオヒラタである。しかし脚はあまり

長くなく、地上をはっている。

11. *Leiobunum montanum* Suzuki, 1953 ヤマスベザトウムシ
77. 8. 18. 柴小屋 3 ♂ 1 ♀.
明るい褐色で、眼球だけが黒いので、生息していれば目立つ種であるが、最近県内ではめっきり個体数が少なくなった。
12. *Leiobunum japonicum* Muller, 1914 モエギザトウムシ
99. 10. 10. 悲願寺 1 ♀.
体長は 3 mm 程度と小さいが、脚は長く第 2 歩脚は 8 cm を超えている。
13. *Gagrellopsis nodulifera* Sato et Suzuki, 1939 イラカザトウムシ
77. 6. 5. 悲願寺 1 ♀. 77. 8. 18. 柴小屋 7 幼虫.
99. 10. 10. 雲早山, 幼虫 (B).
5 ~ 6 月ごろ成体になる。8 月になると幼虫しか見ることができない。うすい緑色の幼虫である。
14. *Gagrellula ferruginea* (Loman, 1902) アカサビザトウムシ
77. 8. 18. 柴小屋 4 ♂ 2 ♀. 77. 10. 2. 柴小屋 2 ♀.
明るい褐色であるが、腹部に黒いおび状の斑紋ほんと、棘を持つ。
15. *Gagrellula* sp.
99. 10. 10. 悲願寺 1 ♀.
前種によく似るが、体長、脚長ともやや小型であり、全体に黒く、前種より低い所にすみわけている。
16. *Systemocentrus japonicus* Hirst, 1911 ゴホンヤリザトウムシ
99. 5. 9. 本根川ほねがわ, 幼虫 (B). 99. 10. 10. 大中尾 1 ♀ (B).
99. 10. 11. 雨乞あまごいの滝 1 ♂ 2 ♀ (B)
腹部背面に 5 本の棘が並んでいるのでこの名があるが、徳島を含め四国産のものは、例外なく 6 本の棘を持っている。中国地方では 5 本のもの、6 本のもの地域がある。他の地域のものほとんど 5 本槍である。

参考文献

- Suzuki, S. 1974. Redescription of *Dendrolasma parvula* (Suzuki) from Japan. J. Sci. Hiroshima Univ. (B-1), 25 : 121-128.
- Suzuki, S and Tsurusaki, N. 1981. Redescription of *Systemocentrus japonicus* with Special Reference to its Two Geographic Forms. Annot. Zool. Japon. 54 : 273-283.
- 鶴崎展巨 1996. ナミザトウムシ種群における核型分化・遺伝的分化と交雑帯の性質の解明. 平成 7 年度科学研究補助金 (一般研究 C) 研究成果報告書.